



那覇市立教育研究所

所報第7号

平成21年10月26日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

文章を書く

所長 池間生子

研究所では、自分の考えていることや気づいたこと、意見等は会話を通してお互いの理解を図ることも多いのですが、研究内容を記録するというになると「書く」という作業が伴ってきます。研究員はその時に改めて「書く」ことの難しさを実感するようです。研究員の日誌の中に「今日は、雲一つない良い天気ですが、私たちの気持ちは曇りです。テーマや主題設定の理由を考えてはみたのですが、それがうまく書けません。子供達に日記や作文を書きなさいとよく言いますが、子供達は、こんな気持ちになりながら書いていくのだろうか。」という一文がありました。文章にするということは、

一、考えに形を与える

二、考えを深め整える

三、保存され、残り、裁かれる

文章を書く力は、文章を書くことによって身につけていく。ということは理解できるのですが、なんとなく億劫になってしまいます。

文章を書くことが好きかと問われて好きだと答える人は少ない。教師でも同じだ。

文章にはその人の国語力の総体が反映する。文字の巧拙、語彙の多寡や適否、認識・思索の広狭深淺、見識の高低、独自性や教養の有無、ユーモアセンスの機微などのすべてが露呈される。文章修行をすることは、このように意義深いことなのだ。

日本教育技術学会会長 野口芳宏

最近読んだエッセイで研究員の研修に活用させて頂いた文章です。

第92期 研究員 修了式



9月25日 研究生活を修了致しました！
研究報告書は、ホームページに載せてありますので、ご利用下さい。

第93期 研究員 入所式



田島 剛 安岡中 数 学
阿部 愛香 泊小 国 語
猪野由錦子 城西小 特別活動
宮里美貴江 真地幼 幼児教育



小祿南小校内研 算数授業改善チーム 公開授業研究会

9月18日(金) 小祿南小 3年1組 「かさ」 協賛者 知念太一郎
参加者 小祿南小職員 小祿ブロック教諭 算数チーム

授業の様子



知念先生



1リットル升の活用



授業参観の様子

授業研究会 算数チームのリードによるワークショップ型研究会



喜久川校長



グループ討議



ファシリテータの集約



指導助言



講評

《会 順》

- ①はじめのことは
- ②学校長挨拶
- ③授業分析・グループ討議
- ④発表の集約
- ⑤授業者の意見・主張
- ⑥指導・助言
- ⑦講 評
- ⑧おわりのことは

算数チーム
喜久川美沢(小祿南小学校校長)
宮 里 晋(研究所指導主事)
知念太一郎(小祿南小学校教諭)
宮 里 寧(学校教育課指導主事)
池間生子(研究所 所長)
算数チーム

平成22年度 教育研究員募集のお知らせ

平成22年度の教育研究員の募集要項を11月の下旬に発送する予定です。

希望の先生方につきましては、準備方宜しくお願い致します。

前期【94期】 平成22年 4月1日～平成22年9月30日(6ヶ月)

後期【95期】 平成22年10月1日～平成23年3月31日(6ヶ月)

教科・テーマ・テーマ設定理由等の提出書類があります。詳しくは募集要項でお確かめ下さい。

じっくりと時間をかけて研究を深めることができます。是非チャレンジを！